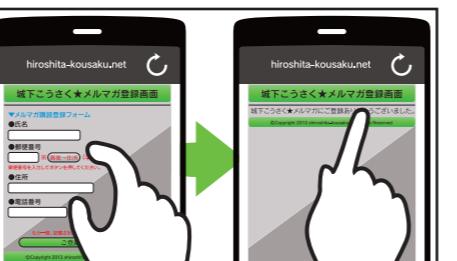


城下こうさくメルマガ登録開始! ご登録をお待ちしております。

●空メールによる「城下こうさくメルマガ登録方法」についてご説明します。



①まず、QRコードを読み取って、記載されたアドレスに空メールを送ってください。

②次に折り返し、ご登録者様宛に本登録をお願いするメールが届きます。

③そのメールに記載されたメルマガ登録サイトにアクセスして、本登録してください。



※ガラ携もやり方は同じです。
①～④の手順に沿って、仮登録から本登録まで終了してください。
下記のQRコードからどうぞ!



④ご登録者様宛に、メルマガ登録サイトから本登録完了のメールが届きます。

⑤これら①～④の手順に従って本登録完了のメールが届いたら、メルマガ登録が完了となります。

熊本市の統一地方選挙が変わります!

県議会議員選挙(熊本市)は、熊本市第一選挙区と熊本市第二選挙区の2つの選挙区になり、今回はそれぞれ選挙区ごとの投票となります。



PROFILE

●県議4期。●党県幹事長。●元県監査委員。●測量設計会社設立。●県立牛深高校同窓会顧問、九州測量専門学校顧問、九州鋼構造物塗装協同組合顧問、熊本県行政書士政治連盟顧問、熊本県清掃事業協議会顧問。●九州測量専門学校卒。●昭和34年4月8日 天草市生まれ。

●ホットライン《お気軽にご相談ください。》

県議会/096(333)2645・FAX096(385)9767・携帯電話/090-8661-7722

●ホームページ <http://www.shiroshita-kousaku.net/>

●メール shiroshita@kumamoto-komei.net



しろしたこうさく 城下広作 県政報告誌

2015年 3月発行

県民の身近な代弁者
熊本県会議員
D 熊本市北区
選出
熊本県庁
〒862-8570
熊本市水前寺6-18-1
Tel.096-333-2645
Fax.096-385-9767

第 67 号

県民の身近な代弁者

ご挨拶

桜花爛漫の候、皆様方に日頃は大変お世話になつております。さて、2月議会も2月7日から3月13日までの25日間の日程を無事終え、政府が景気・経済の起爆剤として推進する「地方創生」の関連予算も組み込まれ、その効果が注目されるところです。一方、我々県議会も任期満了を迎える、4月3日告示、4月2日は投票日となります。私も4期/6年間を終了し、今回は5期目を目指すことになります。都市部では、景気回復の兆しがあるようですが、熊本県を含む地方では、その兆しがまだ感じられません。今回の統一選挙、先ずは景気回復・雇用の創出を柱に、元気な熊本作りに取り組む決意を皆様方に訴えさせて頂く決意です。

平成27年3月吉日
県議会議員(公明党)城下広作

高速交通及び新幹線活用対策特別委員会

経済・環境常任委員会

3月28日に開通した、国道3号線北バイパスの開通に当たり、3号線と北バイパスの交差点部で新たな信号機が付いたことで、相当な渋滞が予想されるのではないかと渋滞の予想を尋ねました。答弁としては、過去の交通データーから見ても相当な渋滞が予想されると認識されており、私は、更なる渋滞の解消は平面交差を避け、立体交差で対処するしかないので

はと訴えました。状況を確認、地下水保全対策が進んでいないと指摘、来年度予算案では県下の小学校の環境学習あり方、また一方で、PCBの廃棄物処理法、水銀フリーに向けた具体的な取り組み、処理の方法など今後の県の取り組み方を質しました。

「県民の身近な代弁者」をモットーに東西南北を奔走! 動きます!!

県政報告会開催

上熊本駅高架橋落成式

「かがやきの森」支援学校卒業式

国道3号北バイパス開通式



3月3日、午後7時、熊本テレサにて「城下広作県政報告会」を開催しました。当日は雨にも関わらず、会場は参加者で一杯になり感謝の言葉しか見当たりませんでした。県議として全力投球で頑張る決意をしました。

長年の悲願であった、鹿児島本線在来線の高架化が崇城大学付近から新町付近まで完成し、3月14日、上熊本駅高架橋開通式に参加しました。今まで分断されていた地域が、これを機に発展することを強く望みます。

3月20日、県立特別支援学校「かがやきの森」支援学校卒業式が行われました。昨年12月1日、開校したばかりですが、小中高それぞれの立場で、合同の卒業式が行われ、皆さん嬉しそうでした。

この日を待ち望んでいた関係者も多かったと思いますが、3月28日、国道3号線北バイパスが須屋バイパスから国道3号線まで約1.8キロの道路が完成し、この日は開通記念式典が行われ地元県議として参加した。

(一般質問) 平成26年12月5日

公明党 城下広作

1. 地方創生について

- (1)「地方人口ビジョン」、「地方版総合戦略」の市町村との調整
- (2)県下の均衡ある発展
- (3)高校再編計画
- (4)夜間中学の設置

●質問 今後、県や市町村でも、地方人口ビジョンや地方版総合戦略の策定を進める中で、独自性を意識する余り、方向性にずれが生じないか、その際、県としては、市町村とどう調整を図っていかれるのか、お尋ねをいたします。

●答弁(知事) 県の地方版総合戦略等の策定に当たって、本県が目指すべき方向性を示し、市町村と共有することにより、県、市町村が一体となって地方創生に取り組めるよう、しっかりとリーダーシップを發揮してまいります。

●質問 熊本市一極集中の傾向について、どのような認識をお持ちなのか、また、県下の均衡ある発展については、どのように考えておられるのか、お尋ねします。

●答弁(知事) 県としては、地域の均衡ある発展に向けて、熊本独自のさまざまな取り組みを率先し、また、支援することで、各地域において幸せが実感できるまち・ひと・しごとづくりに努めてまいります。

●質問 平成29年度以降の今後の高校再編計画に対しては、熊本市以外から熊本市内への生徒の流入、定員、公立、私立の割合などさまざまな観点から、より慎重な論議を求め、より多くの県民の納得が得られるような高校再編計画を望むのですが、今後の再編計画の予定と今後の方針についてお尋ねします。

●答弁(教育長) 現時点においては平成29年度以降の再編計画の方針等は定めておりません。熊本市を含む県央学区の中卒者数の動向や公立及び私立の募集定員の推移等も総合的に勘案しながら、多くの方々の御意見を伺い、慎重に検討してまいります。

●質問 夜間中学は、今は外国人や不登校の人たちが学びたいとの要望がふえているということから、まずは都道府県に1カ所、国が支援する方針のようですが、現状では8都府県31校で、残念ながら本県にはありません。今後、夜間中学の設置はどのように考えておられるのかお尋ねをいたします。

●答弁(教育長) 本県では夜間中学は設置されておりません。県教育委員会としましては、市町村教育委員会との連携のもと、来年度、国が

実施する中学校夜間学級の設置に当たっての課題やその解消策等に関する調査研究事業を活用しながら、夜間中学の設置の必要性について研究してまいります。

2. 高齢者対策について

- (1)認知症行方不明者の早期発見手段
- (2)高齢者犯罪に対する福祉面の対策
- (3)県営住宅における単身高齢者への対応

●質問 認知症の行方不明者を早期に発見するために、例えば上着、肌着、下着にQRコードのタグをつけければ、携帯電話、スマート等で照合すれば、身元の判明の迅速化につながると思います。このような取り組みについて、県の認識はどうかでございます。

●答弁(健康福祉部長) ご提案のQRコードを衣服にタグとしてつける方法も、個人情報の保護に、より配慮した身元確認手法の一つであると思います。警察本部等と連携して、さまざまな身元確認方法に係る有効性等について検討の上、早期発見のための取り組みがさらに進むよう努めています。

●質問 高齢者犯罪の背景としては、生活の困窮や将来不安、地域での孤立感や認知能力の低下を指摘する声もあるようです。高齢者の福祉の面からも何らかの手立てを考える必要があると思いますが、いかがでしょう。

●答弁(健康福祉部長) ご指摘の高齢者の生活の困窮や地域での孤立感などについては、市町村の社会福祉協議会が中心となって行う組織的な見守り活動や、身近な触れ合いの場となる地域の縁側づくり、さらには、生涯を通して現役として活躍できる地域社会づくりをより一層進め、その解消に努めています。

●質問 高齢者の単身向けの公営住宅の入居希望や、既に公営住宅に入っておられる単身者の中にも、現在の部屋は広過ぎるから、一回り小さな部屋に住みかえをしたいとの声も聞きます。このような状況を踏まえ、今後、県営住宅における単身高齢者への対応についてどのように考えておられるか、お尋ねをいたします。

●答弁(土木部長) ご質問の単身高齢者につきましては、条例で単身でも入居できることとしており、さらに倍率優遇により入居しやすくなっています。また、県営住宅にお住まいの高齢者の方が、家族の転出等により単身になられた場合には、希望により住宅を住みかえることができるようになっております。今後とも、居住面積に応じた県営住宅の有効活用を図ってまいります。

3. 水銀フリー対策について

- (1)水銀の使用削減及び水銀廃棄物の回収・処理
- (2)県庁の率先行動

●質問 本県での水銀の使用削減及び水銀廃棄物の回収、処理に関してはどのような対応をされようとしているのか、お尋ねします。

●答弁(知事) 県内全ての市町村において、蛍光管の分別回収が実現。あわせて、県内で回収された水銀が輸出に回らないよう県と熊本市で保管しています。今後、水銀の使用削減のため、代替製品等への転換を呼びかけるとともに水銀含有廃棄物の回収処理が確実になされるよう取り組みを進めてまいります。

●質問 県庁や県の出先機関の水銀が含まれている蛍光灯の交換が必要になりますが、どのようにして早期に取り組まれるのか。また、水銀を含む道路照明灯についても交換せざるを得ません。今後の照明灯の早期更新についてどのように考えておられるのか、お尋ねをいたします。

●答弁(知事) 県有施設の蛍光灯については、順次LED照明への更新を進めており、道路照明についてもLED化を進めてまいります。

4. G空間情報を利用した積極的な取り組みについて

- (1)県民が利用しやすいG空間情報の充実
- (2)防災関係等でのG空間情報の活用
- (3)県や市町村の工事関係データの有効活用

●質問 県の各部署のデータ、例えば福祉や教育、暮らしの情報など、市や市町村のデータ等を利用しながら、県民が活用しやすい便利な情報を集積したシステムの充実、拡大を強く望むのですが、県の今後の対応をお尋ねします。

●答弁(企画振興部長) 地理情報は、県民生活や企業活動に有用であると認識しており、引き続き、府内及び市町村に働きかけを行い、福祉や教育などの分野も含めた幅広い電子地図の充実に努めています。

●質問 県としては、今後、防災関係等でG空間情報の活用をどのように考えようとしておられるのか、お尋ねをします。

●答弁(企画振興部長) 県民の安全、安心のための防災関係等におけるG空間情報の活用につきましては、人吉市における実証事業の成果を参考とし、関係部局と連携しながら、さまざまな面から研究してまいりたいと考えております。

●質問 県や市町村が発注した測量や設計データ、土木工事などで完成した構造物などの完成データは、幅広い活用の仕方があると考えていますが、これらのデータは、G空間情報としてどのように有効活用されているのか、また、今後の対応についてはどのように考えていくのか、お尋ねをいたします。

お尋ねをいたします。

●答弁(土木部長) G空間情報であります測量図や完成図などのデータは、国が整備、更新する基盤地図情報、あるいはデジタル道路地図の基礎資料として提供し、各種情報マップや交通事故分析、カーナビゲーションシステムなどに幅広く活用されております。引き続き、情報を共有し、有効活用できる仕組みについて検討してまいります。

5. 観光推進について

- (1)外国人に対するおもてなしの充実
- (2)過去の教訓や歴史に学ぶ観光振興

●質問 提案ですが、外国語が話せるボランティアの協力者をふやす取り組みで、例えば話せる言葉ごとにバッジの色などを変え、上着など見えるところにバッジをつけていただき、あらかじめ広報などで熊本のバッジの取り組みをPRしておけば、外国の方が何か尋ねたいことがあるれば、バッジを見て話しかけがしやすくなります。このようなボランティアのバッジの取り組みによる外国人に対するおもてなしの充実について、どのように考えておられるか、お尋ねします。

●答弁(商工観光労働部長) ご提案のバッジの取り組みにつきましても、熊本の旅に満足していただくためのアイデアの一つとして大変興味深く受けとめました。今後、この仕組みも参考にしつつ、市町村や観光関係団体等と連携を図りながら、県民挙げてのおもてなしの充実に努めています。

●質問 本県は、公害を発症した水俣地域を抱えています。ここで公害の悲惨さを学ぶツアーや白川水害や阿蘇の土砂災害の恐ろしさを今後の教訓に生かそうとする見学ツアーです。昨今、過去に学ぶことを忘れがちな風潮がある中、熊本に来ることによって、さまざまな教訓を学びとつていただくなつツアーやついて、どのように考えられるかお尋ねをいたします。

●答弁(商工観光労働部長) 歴史に学ぶ観光地の集客力は非常に大きいと認識しており、近年、東日本大震災や御嶽山噴火など、防災に対する関心も高まってきております。県内にも、水俣病を初め、阿蘇の土砂災害や天草・島原の乱、西南の役など、過去の教訓や歴史を学べる地域が点在しております。地元市町村等と連携を図りながら、防災教育や歴史教育プログラムなどを開発し、過去の教訓や歴史に学ぶツアーや誘致に努めてまいりたいと考えております。

※全文は城下広作ホームページをご参照ください!